

## 三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成27年3月23日

三重県アセアンビジネスサポートデスク

株式会社野村総合研究所（NRI）

### [タイ] 軍政がインフラ整備を推進

軍政は都市間鉄道（標準軌）や国際空港など基幹となる交通インフラストラクチャーの整備を推進している。都市間鉄道については、バンコクなど南部とラオス国境ノンカイに至る南北区間の整備につき、中国と技術および資金協力に係る覚書を締結した。また、日本からも鉄道整備やバンコクから当方に200キロ圏内に立地するミャンマーのダウエー開発にかかる協力を取り付けた。

このうち、鉄道整備についてはドイツなど欧州勢もタイへの協力を申し出ており、ビューティーコンテスト状態となっている。特に、中国との覚書を締結した南北鉄道については、2015年内に着工、2020年までに開業という野心的な計画となっている。一方、中国輸出入銀行が提示した借款の金利水準がタイ側にとって高く、日本政府からの円借款の方が有利なのではないかといった議論もされており、状況は混沌としている。

タイの高速鉄道整備計画は二十年ほど前から浮かんで消えてきた経緯があり、今後も動向を見守る必要がある。

### [タイ] ナノファイナンス事業の申請受付開始

タイ政府はナノファイナンス事業の申請受付を2015年に入って開始した。ナノファイナンスとは、一人当たり10万バーツまでの無担保融資につき、年利を上限36%まで認める（既往の消費者金融では28%上限）もので、いわゆる闇金融の代替となることが意図されている。事業ライセンスを発給する財務省によれば、これまで日系を含む14社が申請しており、うち数社については数か月内にライセンスが発給される見通しである。